

[No. 29] SRS エア・バッグに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) エア・バッグ・システムの電気回路の点検には、通電時間が5秒以下であれば通電電流値が10mAを超えるアナログ式のサーキット・テスタを使用することができる。
- (2) SRS エア・バッグの車載故障診断装置で、現在故障と一過性の故障の異常検出が重なった場合には、現在故障のみのダイアグノーシス・コードを表示する。
- (3) 電気式のエア・バッグを強制的に展開させる車内作動処理を行う場合、静電気での誤作動を防止するため、作動用ハーネスのバッテリー側の端部は、バッテリー端子に接続する直前までより合わせて（導通させて）おく。
- (4) 衝突などにより、エア・バッグが作動し、修理のためにエア・バッグの交換を行う場合であっても、SRS・ECUを交換する必要はない。

答（3）

- (1) 通電電流値が10mAを超えるテスタを使用すると、回路の故障またはエア・バッグ暴発の原因となる。
- (2) 両方のコードを現在故障として表示する。
- (4) エア・バッグが作動した場合は、SRS・ECUも交換する。